事業名	種豚改良		
予算区分	県 単 (17,886千円)	担当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継 続 (平成元年度~)	協力関係	
事業目的	優良な繁殖用種豚を選定し、バークシャー種の種子豚及び、バークシャー種・デュロック種の精液を生産・供給する。これにより岡山県産豚及び「おかやま黒豚」(バークシャー種)の生産を推進して、岡山県の養豚振興を図る。		

○ 本年度事業のねらい

事業1 岡山県産豚の生産振興

(事業内容)

種子豚譲渡及び精液譲渡

1 種子豚譲渡は、バークシャー種子豚を生産し、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を、県内生産者向けに安定的に供給する。

譲渡計画頭数 雄 5頭 雌 60頭 合計 65頭

2 精液譲渡(バークシャー種・デュロック種)は、原則として毎週2回(月曜と金曜)採精、モデナ液で希釈して、宅配便で翌日、農場に届ける。

譲渡計画本数 バークシャー種:350本、デュロック種:1,450本 計1,800本

事業2 バークシャー種の種豚能力向上

(事業内容)

1 繁殖能力の向上

場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を、一般社団法人日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、成績上位の母豚から生まれた後継豚を保留する。

併せて、農家に供給した種子豚の総産子数、生存産子数、離乳頭数を調査し、黒豚の繁殖能力の検証を行う。

2 産肉能力の向上

種子豚の背脂肪厚及びロース芯面積の測定等により、高能力な優良豚を選抜し場内保留する。

3 外部導入

飼養豚の能力向上のため、繁殖能力や産肉能力の高い種豚を外部導入する。

〇 前年度までの成果

事業1 H29年度の岡山県産豚の生産振興

1 種子豚譲渡頭数

バークシャー種 雄 5頭 雌 77頭 合計 82頭

2 精液譲渡本数

バークシャー種:1,036本、デュロック種:568本 合計 1,604本

3 繁殖豚の更新

繁殖豚は、次のとおり18頭更新した。

バークシャー種:雄6頭、雌14頭(うち県外導入雄1頭、雌2頭)

デュロック種 : 雄3頭 (県外導入)

事業2 バークシャー種の種豚能力評価

1 繁殖能力

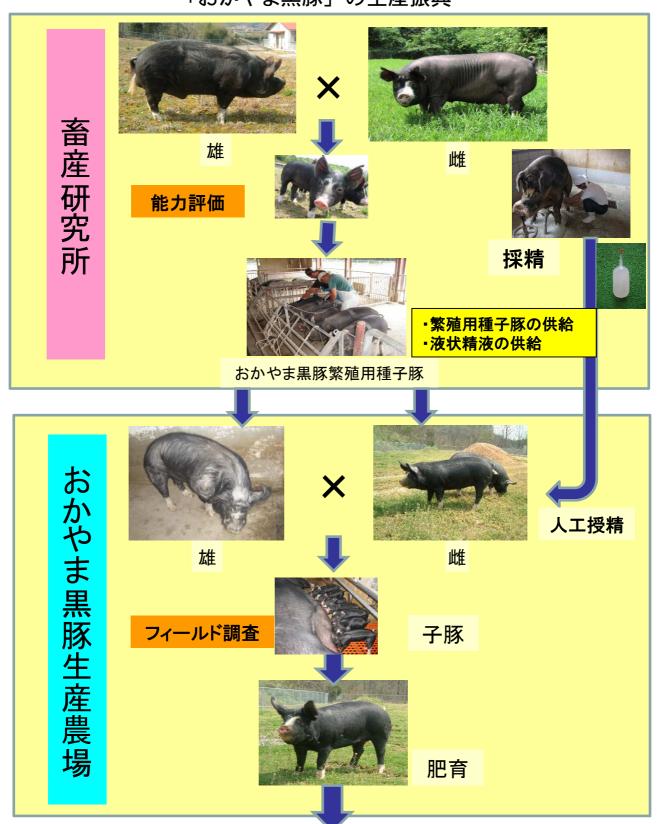
繁殖能力の高い母豚から生産された種子豚の成績(生存産子数)を調査したが、相関性は低かった。より長期にデータを集積して再度調査を行う。

平成28年度以降は、繁殖能力の低い母豚はより積極的に廃用し、高い母豚から生産された種子豚を積極的に場内保留している。今後は、成績の推移を定期的にまとめる予定である。

- 2 種子豚の繋殖調査
 - ・1 産以下での廃用率は、高い状況が続いている。
 - ・場内に保留した種子豚の繁殖成績は、改善する徴侯が見られている。

種豚改良

- 「おかやま黒豚」の生産振興-



岡山県営食肉地方卸売市場